

予約制・申込みはこちら→



お申込み

DAYS 救援アクション (DAYS JAPAN 内)

電話 03(5376)7898

メール daysaction@daysjapan.net

お名前と DAYS JAPAN の定期購読の有無を明記ください。

日本列島の 全原発が 危ない

広瀬隆

白熱授業 2時間!!

企画・司会——広河隆一
カラー版の大資料を配布します

ひろせ・たかし ●作家、ジャーナリスト。1943年生まれ。早大理工学部卒業後、大手メーカー技術者、医療雑誌翻訳を経て執筆活動に入る。著書に『ジョン・ウエインはなぜ死んだか』(文春文庫)『赤い橋』(集英社)『世界石油戦争』(NHK出版)など多数。近著に『東京が壊滅する日——フクシマと日本の運命』(ダイヤモンド社)等。

広瀬隆からのメッセージ

この集会の目的は、「次の原発大事故が目前に迫っている」驚くべき状況をくわしく知っていただき、私たち市民が、大事故発生時の具体的な対策を行動に移すための緊急の呼びかけです。

6年前のように、うろたえることがあつてはなりません。つまり、鹿児島知事・三反園訓が「県知事には原発の運転の可否を決定する権限はない」と言い張って、卑劣にも鹿児島県民を守る責任と義務を放棄したため、九州には重大危機が迫っています。この裏切り者の男を全国から糾弾する必要があります。西日本から放出される放射能は、一瞬で日本列島をなめつくします。

3月末に高浜原発の再稼働容認という信じがたい判決が出されました。伊方原発の場合は、運転停止仮処分申請について同様に広島地裁で住民の請求が却下されたが、まだ愛媛・大分・山口の三つの県が仮処分を提訴しており、一件でも勝てば伊方原発の運転は停止されるので、近いうちに停止できる希望のほう濃厚です。

しかし! 大地震の脅威は、私たちの予測を上回って近づいています。

演題にある「日本列島の全原発が危ない」というのは、ほかの運転停止中の全ての原発を含めて、プールに大量に抱えている使用済み核燃料が、いつ暴走するかも知れないことを意味します。5ヶ基すべてが危険なのです。そして、東海村と六ヶ所村の再処理工場が抱えているさらに危険な高レベル放射性廃液の水素爆発の危険性が、知られていませんので、くわしい現状を報告します。高レベル放射性廃液の漏洩は、たちまち日本列島を壊滅させるほどです。一刻も早く、手を打つ必要があります。

電力会社と日本原子力発電と日本原燃がいかにも危険な対策をとっているかを知れば、みなさんは、たまげるでしょう。こうした状況が、メディアでまったく取り上げられていないことは、信じがたい状況です。

たくさんの方の友人・知人を誘って必ず会場に足を運んでください。心からお願いを申し上げます。

この講演会は、申込み制です(上記・参照)



4月30日(日)

18:30 開場

18:45 開演

なかのZERO 小ホール

(東京都中野区中野2-9-7)

入場料 1000円

・DAYS JAPAN 定期購読者

→ 700円

・高校生以下と75歳以上

→ 500円

主催 DAYS 救援アクション (DAYS Relief Action: DRA)

後援 DAYS 子ども募金 DAYS JAPAN

